

梅雨明けに関するお知らせ

令和3年7月16日
甲府地方気象台

(見出し)

気象庁は、本日(7月16日)「関東甲信地方は梅雨明けしたとみられます」と発表しました。

(本文)

関東甲信地方は、湿った空気の影響で雲の広がっている所がありますが、高気圧に覆われて晴れている所が多くなっています。向こう一週間も高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、関東甲信地方は、7月16日ごろに梅雨明けしたとみられます。

(注意事項)

梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。

梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、今回お知らせした期日が変更となる場合があります。

(参考資料)

平年の梅雨明けは7月19日ごろです。

昨年の梅雨明けは8月1日ごろでした。今年の梅雨入りは6月14日ごろでした。

6月14日から7月15日までの降水量は次のとおりです(速報値)。
(カッコ内は6月14日から7月15日までの降水量平年比)

平年値の統計期間：1991年～2020年

気象官署 特別地域気象観測所	甲府	354.0ミリ(233%)		
	河口湖	335.0ミリ(171%)		
アメダス観測所	大泉	229.5ミリ(125%)	富士川	297.0ミリ(191%)
	乙女湖	455.5ミリ(208%)	古関	311.5ミリ(162%)
	韮崎	343.0ミリ(201%)	切石	284.0ミリ(143%)
	勝沼	295.0ミリ(197%)	山中	359.5ミリ(136%)
	大月	294.0ミリ(163%)	南部	483.0ミリ(143%)
	上野原	299.0ミリ		

上野原は、観測期間が少ないため平年比を算出していません。

本件の問合せ先：甲府地方気象台
(TEL 055-222-9101)